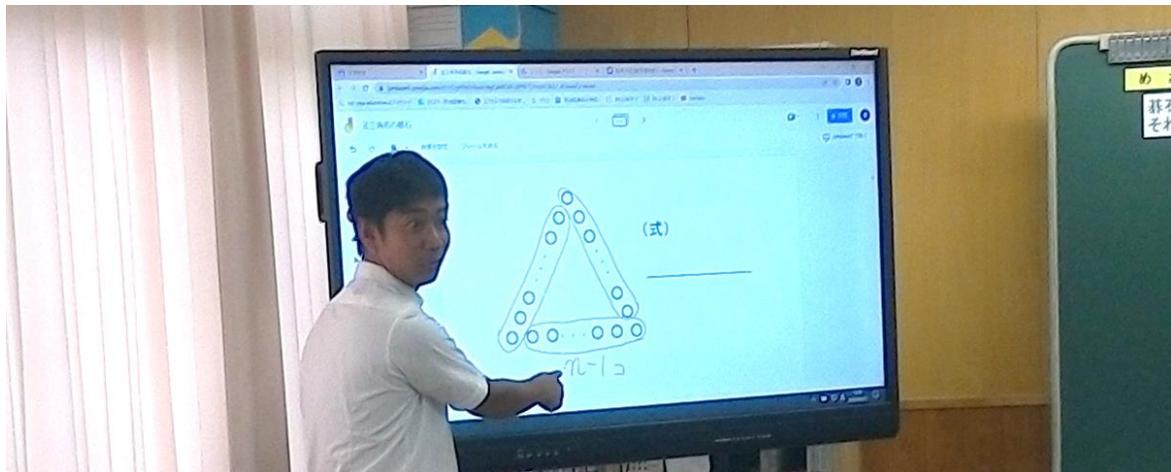


研究指定校（小城市立牛津中学校）の授業実践



堤 賢二郎 教諭

単元名：文字の式（中学校第1学年 数学）

ICT活用のポイント

- ・ Jamboardを活用することで、色を付けたり、書き込んだり、消したりが簡単にできるので、1人でいくつもの考えを出すことができる。
- ・ 振り返りでFormsを活用することで、瞬時に結果を可視化し、大事なキーワードや疑問点などを学級全体で共有することができる。

学習の流れ 全16時間（本時6 / 16）

本時の目標 基石の数を文字の式で表し、その表し方について説明することができる。

導入

①本時のめあてと課題を確認する。

活用ポイント
【表示機能】

<めあて>
基石の数を、文字を使って様々な式で説明し、それらの式の意味を考えよう。

展開

②課題について個人で考え、1人1台端末に記入する。

活用ポイント【Jamboard】

③席を自由に動いて考えを出し合い、意見交換をする。

活用ポイント【Jamboard】

④代表者が学級全体に考えを発表しその考えに対して全体で議論する。

活用ポイント【Jamboard】

まとめ

⑤様々な式の表し方を、ワークシートに記入し、それらの式の意味を考える。

⑥本時のまとめをする。

基石の数は、文字を使うと様々な式で表すことができるが、式の形は違っても、どの式も同じ式といえる。

⑦本時の振り返りをする。

活用ポイント【Forms】



←「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

①



①問題提起のスライドによって、本時の活動への興味をひかせる。
【プレゼンテーションソフト (PowerPoint)】

言葉だけよりも説得力があり、生徒の意欲もUP!

個別最適な学び

②基石を並べた図を配布し、考えを記入させる。
【Jamboard】

②



スタイラスペンを使うことで、まるでノートに書きこむような操作性。

②



色を使って記入できる。

テキストや付箋で記入も可能。

③

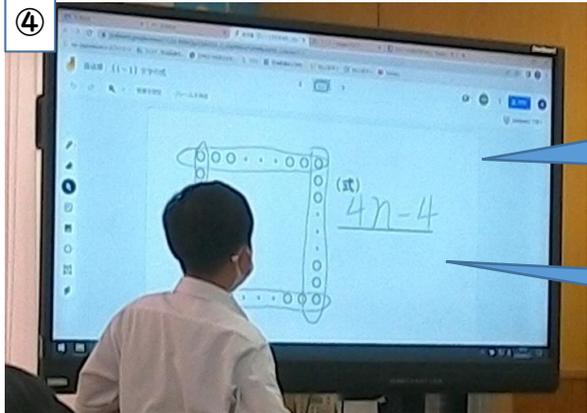


③席を自由に動いて考えを出し合い、意見交換をする。【Jamboard】

協働的な学び

画面を見せながら説明することで説得力UP!

④

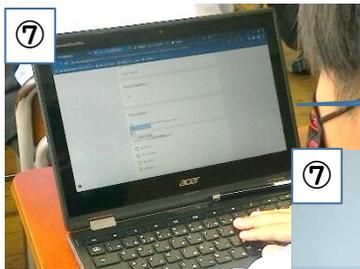


④学級全体に考えを発表し、その考えに対して学級全体で議論する。【Jamboard】

それぞれの考えを瞬時に電子黒板へ表示できる!

画面上での修正・加筆も可能!

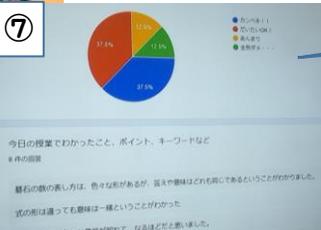
⑦



⑦本時の振り返りをする。【Forms】

記入が簡単!

瞬時に集計・表示!



牛津中学校は、どの生徒も端末の普段使いが進んでいます。子供たちが当たり前のように端末を活用して学んでいる姿がとても印象的です。端末の利点を生かした先進的な授業でした。